

令和 7 年度第 1 回大分支部評議会議事録

開 催 日 令和 7 年 7 月 23 日（水） 10：00～12：00

開 催 場 所 J:COM ホルトホール大分 「409 会議室」

出 席 議 員 石井評議員、金崎評議員、亀井評議員、河野評議員、川野評議員、佐藤評議員、
藤嶋評議員、渡辺評議員（五十音順）

議 題

（１）2024 年度協会けんぽ決算（見込み）について

（２）2024 年度大分支部事業報告について

（３）大分支部糖尿病医療費に関する分析について

議 事 概 要

（主な意見等）

議題 1. 2024 年度協会けんぽ決算（見込み）について

＜事務局＞

資料に基づき説明を行った。

〔学識経験者〕

参議院選において複数の政党が社会保険料の削減を公約に掲げているが、社会保険料を下げるようになった場合、その原資について協会けんぽとしては国庫補助の増加を国に訴えかけるのか。

〔事務局〕

国の指示で社会保険料が下がるとなれば、国庫補助を引き下げられないように訴えかけることになると考えている。

〔事業主代表〕

中小企業としては少しでも保険料率を下げてほしい。国庫補助の増加を訴えてほしい。

〔事務局〕

中長期的な視点で準備金を積み上げている。十分な準備金があったため保険料率を下げたら国庫補助が減らされた経緯があるため、保険料率を下げるのであれば国庫補助を減らされないように強く働きかけを行っていく。

〔学識経験者〕

保険料率を下げることで、協会けんぽへの国庫補助が減ることになり、結果として協会けんぽの準備金を使うことになると、準備金が枯渇し保険料率を上げないといけないことになり、結局は保険料を納める側の労働者にしわ寄せがくることになる。そうならないために国に働きかけを行ってほしい。

機密性 1

〔被保険者代表〕

前期高齢者の医療給付費にかかる財政調整における報酬調整は今後も継続するのか。

〔事務局〕

財政基盤が他保険者と比較して弱い協会けんぽには、財政支援のため国庫補助が入るようになっている。前期高齢者納付金を算出するうえで、これまでは加入者割で算出していたところを 1/3 が報酬割になったことに伴い、平均標準報酬月額の高い協会けんぽは納付金額が減少したため、財政支援としての国庫補助も減少した。

今後は前期高齢者納付金も後期高齢者支援金のように総報酬割に移行する可能性もあるため、国庫補助は減る可能性がある。

〔学識経験者〕

大分支部の収支決算について、実収支差が約 65 億円あるが、この数字をどのようにとらえているのか。

〔事務局〕

結果的に 1 人当たり医療費の伸びが想定よりも低く推移したためと認識している。

〔学識経験者〕

収支だけを見ると保険料率を下げられる余地があると感じた。日本だけが保険料率を上げる傾向にあり、世界的には保険料率は下げるのがトレンドである。一方で、後期高齢者支援金について、2008 年度と比較して約 1 兆円増加している。団塊の世代が後期高齢者になったことで、今後も高い状況のまま推移することが予想されるためシミュレーションをしながら保険料率の議論をしていきたい。

〔事務局〕

10 月の評議会においてシミュレーションをお示ししたい。

議題 2. 2024 年度大分支部事業報告について

<事務局>

資料に基づき説明を行った。

〔被保険者代表〕

弊社の特定保健指導の実施率が低い。接客業であるので時間の都合がつきにくい。そのため健診当日に特定保健指導が受けられるように健診機関の拡充をしてほしい。また、重症化予防について勧奨文書は本人宛に通知しているのか。

機密性 1

〔事務局〕

当日の特定保健指導を実施できる健診機関は 19 か所ある。大分支部は健診機関の尽力もあり実施率が高い状況である。健診機関の拡充及び、土日祝日や夜間でも保健指導が受けられるように委託事業も行っている。重症化予防の勧奨については、1 次勧奨を本人宛に送付し、1 次勧奨で連絡が取れなかった場合は 2 次勧奨を事業所経由で電話勧奨している。

〔被保険者代表〕

医療費の適正化を踏まえた重点方針があれば教えてほしい。

〔事務局〕

大分支部の医療費分析において、若年層における糖尿病の医療費が高いことが判明しているため、そのような課題を解決するような事業が重要であると考えている。

〔事業主代表〕

令和 7 年度の新規事業はどのような状況か。令和 6 年度の実績について総括としてどのように考えているのか。

〔事務局〕

今後バイオシミラーの使用促進について全支部において医療機関等への働きを行っていく。KPI の達成状況についてはあくまで結果論であり、事業に取り組むにあたってのプロセスが重要と考えている。支部において実施事業の報告会を毎月実施しており、PDCA サイクルを意識した取り組みを行っている。

〔学識経験者〕

健康測定機器レンタル事業について、県内で複数の支所や営業所のある事業所があるため貸出期間である 5 日間をもう少し延ばしてほしい。また、保有台数はいくつくらいあるのか。

〔事務局〕

貸出期間については来年度の事業計画の際に検討をさせていただきたい。健康測定機器の貸し出しについては委託事業であるため、協会けんぽ自体は機器を保有していない。

議題 3. 大分支部糖尿病医療費に関する分析について

＜事務局＞

資料に基づき説明を行った。

〔学識経験者〕

大分県は健康寿命日本一を目指しているが、その中で大分県長期総合計画の会議で本資料を活用したい。大分県にも若年層において糖尿病の一人当たり医療費や代謝リスクの該当者の割合が高く

機密性 1

なっていることを共有したい。

〔事務局〕

本資料をご活用いただくことはこちらとしてもありがたい話である。

〔被保険者代表〕

地域の習慣や食生活等についても関連させて調査してほしい。

〔事務局〕

協会けんぽではレセプトデータや健診結果データで調査することはできるが、地域の習慣や食生活といった情報は持っていない。市町村が公表しているデータ等も活用しながら調査するようになりたい。

〔被保険者代表〕

今後の新しい取り組みについて、例えば従業員の糖尿病医療費改善に資する事業にエントリーしていただいた事業所を 2.3 年計画で改善状況の経過を分析するようなことをしてみてもいいと思う。

〔事務局〕

糖尿病の医療費分析は令和 4 年度から実施しており、それを踏まえて令和 5 年度より糖尿病の改善に資する事業を展開している。本分析は令和 5 年度データを活用しているため、これから PDCA サイクルが回るようになってくるため、今後事業の評価を行って報告したい。

〔学識経験者〕

今回はレセプトデータや健診結果データを活用した医療費分析の報告であったが、さらに分析を行うとなると調査データが必要である。例えば健康機器レンタル事業のレンタル先事業所において、貸出後にもデータを取るような取り組みをして欲しい。調査データは医師と社会学者が介入して原因究明に係る生活労働習慣データを現場に行き取ってこることも可能である。大分大学には医学部や経済学部等の各学部を横断した地域経済社会教育センターを本年 4 月に立ち上げており、そこが調査することもできる。なお、医療費分析においては、業態別の分析よりも職種別の視点が重要である。若年層の数値が悪化してきているのは歩数が減ったのが一因として考えられる。歩かなくてもいい便利な社会になっており、そのため健康寿命を引き下げている。

〔事務局〕

様々な研究機関の協力を得ながら事業を進めたいと考えている。また、地域職域でも連携をしながら事業を進めている。

機密性 1

以 上

特 記 事 項

- ・傍聴者なし
- ・次回の支部評議会は令和 7 年 10 月を予定